



▲繰り返し練習を重ね本番を迎えた演劇

11月10日(日)午後1時30分から文化センターで開かれる「障害者の日」記念事業留萌市実行委員会主催の「スマイルハート劇場」。

この事業は、12月3～9日の「障害者週間」にちなみ、障がいがある方へのバリアを取り除き、社会参加を進めていくための理解と認識を深める運動の一環として、平成9年から行われています。

「障害者の日」記念事業留萌市実行委員会実行委員長の小野さんは、「今年も各支援団体の皆さんの協力を得ながら実施します。芸能発表は、留萌ふれあいの家、サポートハウスちゃお、ほっぷすてっぷげんきのメンバー14人で構成する『スマイル劇団のもい』による演劇『おむすび怖い』、留萌地域の障がい者福祉事業所の皆さんが観客を巻き込んでの打楽器演奏、おにしか更生園職員によるバンド演奏を予定しています。そのほか福祉事業所が制作、販売している食品や手作り品が当たる抽選会など内容盛りだくさんの事業です。

そして「出演者は観客と一体になって楽しめる舞台を目指し、本番に向けて一生懸命練習を重ねています。ぜひ会場へ足をお運びください」と話しています。

チケットは500円で、販売時期およびプレイガイドなどは、広報もい11月号でお知らせします。

出演者の日ごろの練習の成果とステージへの想いが詰まった熱演をお楽しみください。

■市・社会福祉課 ☎42-1807



「障害者の日」記念事業留萌市実行委員会  
実行委員長 小野 尚志さん



▲観客も参加し盛り上がる打楽器演奏

# 観客と一体の舞台を 楽器演奏や抽選会も

スマイルハート劇場

11月10日(日) 午後1時30分  
文化センター



留萌市青少年健全育成推進員協議会  
事務局長 水木 裕司さん

留萌市子どもまつり

# 昔の遊びや工作に挑戦！ 今年のテーマは「人間力」

11月3日(日) 午前9時～  
保健福祉センターはーとふる

11月3日(日)午前9時から保健福祉センターはーとふるで開かれる「留萌市子どもまつり」。

11月の「子ども・若者育成支援強調月間」にちなみ、留萌市青少年健全育成推進員協議会と教育委員会が主催します。

子どもたちが昔のいろいろな遊びや工作などを体験することで、楽しい触れ合いの時間を過ごし、健全な青少年の育成を図ることを目的に毎年開催しています。

事務局長の水木さんは「子どもまつりは今年25回目の節目を迎えます。当初は世代間交流をテーマに展開していましたが、現在はイベント体験型に移行しています。また、市内の中高生がボランティアとして参加してくれるのも近年の大きな特徴です。これは、以前に子どもまつりに参加していた子どもたちが成長し、今度は自分たちが小さな子どもたちの面倒を見るという、当協議会が意図する健全な青少年育成の趣旨に合致するうれしい連鎖だと感じています」。

さらに「竹馬やけん玉などの懐かしい遊びや和裁、茶道、和太鼓、クレープ作りなどの体験、空手の形のパフォーマンスなど多彩なイベントが魅力です。これらのイベントは市内の多くの民間団体や商店の理解と協力を得ており、心から感謝しています」と話しています。

今年のテーマは「人間力」。ぜひ会場に足を運び、「見る・作る・遊ぶ」を体験できる子どもまつりに参加しませんか。

■市・教育委員会子ども課 ☎42-1808



▲茶を味わいたしなみを学ぶ茶道体験コーナー



▲指導を受けながらクレープ作りに挑戦



▲毎年多くの参加者でにぎわう子どもまつり